

幡多の太陽

令和2年7月20日 第9号

コロナ感染予防のためのフェイスシールド支給

7月8日、土佐清水市教育委員会よりコロナ感染予防のためにフェイスシールドが市内の各校に支給されました。夏になり、気温が上昇し、マスクだと暑苦しくなってしまいます。また、口元周辺の体温が上がってしまい熱中症にもなりやすくなってしまふということがあり、このフェイスシールド配布となりました。子どもたちには、マスクかフェイスシールドのどちらかを着用するようにさせています。それは、マスクもフェイスシールドも一長一短あるからです。フェイスシールドの場合、マスクのような暑苦しきや息がしにくいということはありません。また、フェイスシールドを使うことでマスクの消費を減らすことができます。しかしながら、風が強い時にはあおられてしまいます。動きが活発でない学習の場では良いかもしれません。また、顔がかゆかったりした場合、いちいち外さなければなりません。しかし、マスクは風にあおられることはありませんし、動きにあまり影響されません。その場に応じて、マスクとフェイスシールドを使い分けてもらえればと思います。子どもたちのことを思い支給された物なので、長所を生かしながらマスクとフェイスシールドを場に応じて選択させ、有効に活用させたいと思います。

なお、フェイスシールドは、各個人にそれぞれ割り当てており、使い回しはいたしません。それに、毎日、放課後に消毒をするようにしています。



通知表の形式が変わります

今年度より、通知表の形式が県下で統一された形式(まったく同じものというわけではありません)に変更になります。小学校学習指導要領が今年度から新しいものになったこと、働き方改革の一環として校務支援システムで通知表を作成することになったことが理由に挙げられます。通知表の見方等については面談の際に担任より説明があります。

あぶない! 廊下は走らない!

毎日毎日、雨が降り続いています。九州北部や岐阜県などでは大雨による被害が出ています。亡くなられた方もいらっしゃいます。ご冥福をお祈りいたしますとともに被災地の一日も早くの復興を願っています。

どこの学校もなのですが、この時期になりますと、1階の廊下は湿気のためびしょびしょになります。本校でも、教職員がふき取っているのですが、ふき取りきれません。月曜日の朝礼で子どもたちが学級で話し合ったことを発表しています。その中に、よく「廊下を走っている人がいるので走らないようにしましょう。」というのがあります。よくあるということは、走っている人がなくなるといことになります。「ころんで〇〇〇を打った。」というけがの報告をよく聞きます。廊下が湿気のために濡れており、すべりやすくなっているということもありますが、原因はそれだけではありません。廊下を走ったり、階段を飛び下りたりしている子どもたちがいるからです。

自分がけがをしないように、そして、相手にけがをさせないように廊下を走ったり、階段を飛び下りたりしないようにしましょう。痛い思いはさせたくありません。



7月の参観日のご案内

7月26日(日)	代休27日(月)
参観授業(特別の教科 道徳)	8:35~ 9:20
校内水泳大会 幡陽小プールにて	9:40~11:40
児童下校	12:00
個人面談	13:00~



7月の参観日は、道徳参観日となっております。道徳の授業を参観していただくようになっていきます。保護者や地域の方に授業や水泳をしている子どもたちの姿を見ていただけたらと思います。お待ちしております。なお、コロナ感染予防のため、マスクの着用やソーシャルディスタンスにご協力ください。

夏休みの登校日について

今年度は、コロナによる授業時数不足を補うため、夏休み期間を短くしています。夏休み期間が3週間しかないこと、それに期間の中頃は閉庁期間になっていること、どうしてもやらなければならないものではないことなどを考え、今年度は登校日をとらないことにいたしました。短い夏休みですが、児童には健康で楽しい夏休みを過ごしてほしいものです。コロナには十分お気を付けください。

